

第84回ERL検討会議事メモ

日 時： 2014年7月3日（木） 14：00－16：00

場 所： PF研究棟2階会議室

出席者；

KEK会場： 仲井浩孝、下ヶ橋秀典、中村典雄、上田 明、帯名 崇、島田美帆、高井良太、
阪井寛志、山本将博、小林正典、坂中省吾、谷本育律、河田洋、小林幸則

JAEA会場：

ISSP会場：

IMS会場：加藤政博

名大会場：

広大会場：欠席

SPring8会場：欠席

(各報告については http://pfwww.kek.jp/ERLoffice/wg_1/erlmeetingsiryoyou/index.html
参照のこと。掲載許可済みの資料を順次掲載しています。)

1. 中村典雄氏より「IPAC14参加とドイツ加速器施設見学」に関して発表があった。
→ 発表資料参照

- ・開催日：2014年6月15日～20日
- ・会場：international Congress Center, Dresden, Germany
- ・参加者数：1215名（日本117名：KEK約30名）
- ・企業展示数：100ブース（94社）：これまでで最多展示数？
- ・ERL関連のオーラル発表：4件
- ・ERL関連のポスター発表 51件
cERL：15件、HZB：12件、Cornel：8件、BNL：6件、JLAB：3件、その他：7件

(Q) Cornelは0.1mm*mradを目指している感じがしなかったが。

(A) 100mAで0.3 mm*mradとなっていた。

(Q) Slow cool down でQが上がるという話だが。

(A) 1.6Kであるが、サイクルして10¹¹まで達したという話である。

(Q) p.36 メインのクライオモジュールには何台の7セル空洞が入っているのか。

(A) スペースの問題で、1台のようだ。

(C) 回収しないので、加速はしていないと思う。

(C) 6台の7セル空洞を入れたクライオモジュールを製作中であるが、予算が無くまだ3台氏か入れていないようだ。

(Q) AIICEの空洞はマイクロフォニックスで困っていたようだが。

(A) 71Hzの原因は冷凍機のポンプであると特定して、振動はかなり下がったと聞いている。

(C) BNLのSRF-Gunは暗電流がかなり出ているようだ。

(C) ELBEのSRF-Gunもかなり出ていると聞いている。合流部前でビームを振って落とし

ている。

(Q) MESAの目的はなにか。

(A) 原子核実験ようで、CEBAFのように何回か周回させてエネルギーをあげてビームを取り出すのと、回収して電流をあげる（インターナルターゲットを利用）2つのモードがあるようだ。

・ IPAC14 Technical Tours

- 1) HZRB ELBE
- 2) HZB BESSY-II, bERLinPro, MLS
- 3) DESY HERA, FLASH, PETRA-III

(C) IPAC14ではERL関係では、cERLの発表が一番多かった。

(Q) LCLS-II はどんな状況か。

(A) Garaida氏が口頭発表していたが、JLABとFERMIとジョイントで空洞の開発を協力しているということは述べていた。

(Q) Hettel氏の発表はどうだった。

(A) 低エミッタンスリングのレビューだった。

(Q) 新しい手法は発表されたのか。

(A) ESRFのアップグレードぐらいではないかと思う。

(Q) ベンドを縦方向に傾きを付けるアイデアはでたのでは。

(A) そのことについて誰か質問はしていた。

(Q) ブラジルのシリウスはどうか。

(A) ワールドカップで予算が厳しく、建設開始が2年伸びたと聞いた。

(Q) TauUSRとはなにか。

(A) TevatronをSRにしたときの名前だと思う。

2. 坂中章悟一氏より「cERL論文について（案）」に関して発表があった。

→ 発表資料参照（公開不可？）

3. 河田洋室長より「ERL推進室」報告があった。

→ 発表資料参照